

高齢者虐待発見チェックリスト サイン編

高齢者からのサインは、早期発見・早期対応がきわめて重要です。チェックリスト等の活用により、発見につながることもあります。虐待が疑われる場合の『サイン』として、以下のものがあります。複数のものにあてはまると、疑いの度合いはより濃くなってきます。これらはあくまで例示ですので、この他にも様々な『サイン』があることを認識しておいてください。

[身体的虐待のサイン]

- ☐ 身体に小さなキズが頻繁に見られる
- ☐ 大腿の内側や上腕部の内側、背中等にキズやみみずばれが見られる
- ☐ 回復状態が様々な段階のキズ、あざ等がある
- ☐ 頭、顔、頭皮等にキズがある
- ☐ 臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷跡がある
- ☐ 急におびえたり、恐ろしがったりする
- ☐ 「怖いから家にいたくない」等の訴えがある
- ☐ キズやあざの説明のつじつまが合わない
- ☐ 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する
- ☐ 主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまが合わない

[心理的虐待のサイン]

- ☐ かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる
- ☐ 不規則な睡眠(悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等)を訴える
- ☐ 身体を萎縮させる
- ☐ おびえる、わめく、泣く、叫ぶなどの症状がみられる
- ☐ 食欲の変化が激しく、摂食障害(過食、拒否)がみられる
- ☐ 自傷行為がみられる
- ☐ 無力感、あきらめ、投げやりな様子になる
- ☐ 体重が不自然に増えたり、減ったりする

[性的虐待のサイン]

- ☐ 不自然な歩行や座位を保つことが困難になる
- ☐ 肛門や性器からの出血やキズがみられる
- ☐ 生殖器の痛み、かゆみを訴える
- ☐ 急におびえたり、恐ろしがったりする
- ☐ ひと目を避けるようになり、多くの時間を一人で過ごすことが増える
- ☐ 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する
- ☐ 睡眠障害がある

- ☐ 通常の生活行動に不自然な変化がみられる

[経済的虐待のサイン]

- ☐ 年金や財産収入等があることは明白なのにも関わらず、お金がないと訴える
- ☐ 自由に使えるお金がないと訴える
- ☐ 経済的に困っていないのに、利用負担のあるサービスを利用したがない
- ☐ お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない
- ☐ 資産の保有状況と衣食住等生活状況との落差が激しい
- ☐ 預貯金が知らないうちに引き出された、通帳がとられたと訴える

[ネガレクト(介護等日常生活上の世話の放棄、拒否、怠慢)のサイン]

- ☐ 居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている、また異臭を放っている
- ☐ 部屋に衣類やおむつ等が散乱している
- ☐ 寝具や衣類が汚れたままの場合が多い
- ☐ 汚れたままの下着を身につけるようになる
- ☐ かなりの床ずれができています
- ☐ 身体からかなりの異臭がするようになってきている
- ☐ 適度な食事を準備されていない
- ☐ 不自然に空腹を訴える場面が増えてきている
- ☐ 栄養失調の状態にある
- ☐ 疾患の症状が明白にもかかわらず、医師の診断を受けていない

[セルフネガレクト(自己放任)のサイン]

- ☐ 昼間でも雨戸が閉まっている
- ☐ 電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している
- ☐ 配食サービス等の食事がとられていない
- ☐ 薬や届けた物が放置されている
- ☐ ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心になる
- ☐ 何を聞いても「いいよ」と言って遠慮し、あきらめの態度がみられる
- ☐ 室内や住居の外にゴミがあふれていたり、異臭、虫が湧いている状態である

[介護者の態度にみられるサイン]

- ☐ 介護疲れが激しい
- ☐ 高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる
- ☐ 高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばみられる
- ☐ 他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる

- ☐ 高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する
- ☐ 高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする
- ☐ 経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしない
- ☐ 保健、福祉の担当者と会うのを嫌うようになる

[地域からのサイン]

- ☐ 自宅から高齢者や介護者、家族の怒鳴り声や悲鳴、うめき声、物が投げられる音が聞こえる
- ☐ 庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相(草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ゴミが捨てられている)を示している
- ☐ 郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や新聞で一杯になっていたり、電気メーターがまわっていない
- ☐ 気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしば見られる
- ☐ 家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当等を頻繁に買っている
- ☐ 近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる
- ☐ 高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる

高齢者虐待発見チェックリスト

リスク編

高齢者のリスクの要因

[高齢者の状態]

- ☐ 日常生活において介護が必要
- ☐ 判断能力に衰えがあり、日常生活に支障があるため介護を要する
- ☐ 難聴などによりコミュニケーションがとりにくい
- ☐ 精神的に依存度が強い
- ☐ 家族や介護者に経済的に依存している
- ☐ 自己主張が強い(頑固・わがまま・強情等)
- ☐ 介護者に対しての感謝の気持ちを表さない
- ☐ 過去に介護者と家族との確執があった

介護者等のリスクの要因

[介護者等の状態]

- ☐ 年齢や病気、身体的障害等により、自分のことで精一杯
- ☐ 判断力が十分ではない
- ☐ 性格に問題がある
- ☐ 介護疲れ(身体的・精神的)がある
- ☐ 介護や認知症に関して正しい知識を持っていない
- ☐ 相談相手、介護協力者がいない
- ☐ 介護サービスを利用することに抵抗がある
- ☐ 経済的に困っている、不安がある
- ☐ 薬物・アルコール・ギャンブルに依存している
- ☐ 過去に高齢者や家族との確執があった

家族の状態によるリスクの要因

[家族の状態]

- ☐ 家族間のこれまでの人間関係が良くない
- ☐ 複雑な家族構成である
- ☐ 被虐待者以外に介護・世話の必要な家族がいる
- ☐ 経済的な問題を抱えている
- ☐ 介護や認知症に対して正しい知識をもっていない 無関心である
- ☐ キーパーソンがいない
- ☐ 家庭内において、暴力が当たり前のように理解されている